

## 市民協働の「人・まち」づくりをめざして

市民協働推進指針策定委員会

第2回委員会資料

と き : 平成19年10月12日(金) 午後2時～

と ころ : 対馬市役所本庁別館2階会議室

## 第2回市民協働推進指針策定委員会次第

- ① 開 会
- ② 委員長あいさつ
- ③ 議 事
  1. 市民協働についてのアンケートの集約と結果について
  2. アンケート結果に基づく市民協働のあり方について
  3. 委員会の今後の活動と日程について
  4. その他
- ④ 閉 会

## 会 議 録

(平成19年7月27日)

## (開催要領)

1. 開催日時：平成19年 7月27日（金）14:00～16:45
2. 場所：市役所別館 第1・第2会議室
3. 出席者  
委員 加留部 貴行（九州大学特任准教授）  
委員 永留 浩（NPO法人 ツシマヤマネコを守る会 理事）  
委員 濱崎 優子（NPO法人 対馬郷宿会員）  
委員 板井 達夫（対馬「北の玄関口」研究会部会長）  
委員 吉田 若代（社会教育委員）  
委員 中島 秀隆（対馬市 社会福祉協議会 事務局長）  
委員 長 信義（観光商工部長）  
委員 勝見 末利（福祉部長）  
委員 日高 一夫（教育委員会次長）  
委員 阿比留 博文（政策部長）

- 事務局 永尾 榮啓（政策部 政策企画課 課長）  
豊田 充（政策部 政策企画課 課長補佐）  
二宮 照幸（政策部 政策企画課 係長）  
柚谷 智之（政策部 政策企画課 主任）

## (議事次第)

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 議 事  
(1) 市民協働推進指針策定委員会設置要綱について  
(2) 対馬市における市民協働のあり方について  
(3) 市民協働推進指針策定委員会の今後の日程について  
(4) その他
5. 閉 会

1. 感想・意見
2. 「協働」に対して思うこと、イメージetc

- ・人の気持ちをどこまで盛り上げるのか？  
→モノでできるのか？
- ・市民から見て職員に対するイメージの温度差がある
- ・市民と共にやるのが自治体の仕事
- ・島全体の気運を高める → 住民への浸透  
(日々の生活で精一杯)
- ・コミュニケーション・連絡が不徹底なために、不活性が起こっているのでは？
- ・補助金は期待できないので、自主株が必要
- ・どのレベルで議論するのか↑↓
- ・掘点が必要（ハードだけではなく）←多様な意見を！
- ・市役所の仕組みがわからない
- ・どこまでやればよいかわからない
- ・接点づくり、スタートをどうする？←もって行き方
- ・合併後の「顔つなぎ」が切れている
- ・「決め付け」が邪魔をする
- ・市民とは何か？（範囲、形態etc）

## 第1回市民協働推進指針策定委員会（経過と会議概要）

- 委嘱状の交付
- 松原統括監あいさつ
- 各委員及び事務局職員自己紹介
- 委員会設置要綱についての説明
- 委員長・副委員長の選任
  - 委員長 加留部 貴行（学識経験者） 要綱規定による
  - 副委員長 阿比留 博文（政策部長） 委員長の指名
- 委員長・副委員長あいさつ
  
- 会議のなかでの意見概要
  - 市職員が先導すべきでは
  - 市はあてにならないから、自分で動いている
  - 対馬全体に、協働という気運をもたせられるかが、難しいのでは
  - 全てを市民に委ねるのではなく、あくまでも一緒に考えていく
  - 補助金、助成金に頼るのではなく、自費で行う意識をもっている
  - 行政の職員は、どんどん現場に出てもらいたい
  - 話してみないと分からない部分がある（職員に対して）
  - （思い<言葉<行動） 理想
  - （思い>言葉>行動） 現実
  - 委員の意見を聞いていると、市民と行政の隔たりが大きいように思える
  - 全ての間人間が勉強不足であり、そのことが共通の敵「無関心層」を造りだしている
  - どのレベルで論議していくのか
  - 対馬の強み、弱みを知るところから
  - 人の気持ちをどこまで盛り上げるのか
  - アンケートの項目で、市民と行政を分けるのではなく、同じ項目で比較することがよいのでは
  
- ※ 意見概要は全ての意見を記述していません。書記において、記述した分のみ掲載していますので、ご了承ください。

## 第2回市民協働推進指針策定ワーキング部会（会議概要）

アンケート調査の結果について事務局説明

その後、フリートーキングで意見交換

### ■主な意見内容■

- 地域コミュニティの構築、再生から作り上げていけばよいのでは。
- 集落（地区）単位での協働マニュアル  
今でも、各集落においては、地区の行事のなかで、環境美化や地区内の道路の維持補修、海岸清掃等を行っているところも数多くあるので、そのような活動を調査し、具体的な事例として示すことも必要では。
- 自分たちの住む集落地区の特色個性を出すには、どうしたらよいのか。  
協働を進める中での意識の改革
- 市民団体の組織体制の充実を行う場合、人材と財源の確保があげられているが、いろいろな助成事業においても、負担金が生じるケースが多いため、事業への取り組みができないケースもあるのでは。（事務の手続き等も含めて）
- 今回の集計は、市民活動団体全体のものですが、分野別に集計したら、今以上に実態がつかめるのでは。（特に福祉分野）
- 地域内での環境整備に対して、行政から原材料を支給することにより、道路の維持補修などができる制度も、コミュニティへの足がかりとなるのでは。
- 市民活動団体の育成ということになると、行政側の情報の提供や専門的な知識など組織充実へのアドバイスの役割をどのようにしていくかが、ポイントとなるのでは。

### 〈職員アンケート〉

- 職員のアンケート、Q5の団体に対する回答で「行政依存体質の改善」、市に対する回答で「予算の不安」がそれぞれトップですが、行政依存体質の改善を求める一方、予算の不安をあげていることに、整合性がないようであるが、これは職員の気持ちを表しているのでは。
- 個人的に所属、活動している団体のとらえ方が職員によって、まちまちであったと思う。15.8%の数値より増えるのでは。
- 協働についての認識が、職員間でも十分でないため、今回の回収率になったのでは。
- 今回のアンケートで職員も「協働」という言葉の認識はできたと思われるが、実際にどうしたらいいのか。その辺の職員を対象とした協働マニュアルも必要では。
- イベント等（実行委員会）に関わる職員の関わり方がまちまちでは…。

※ なお、今回のアンケート調査についての感じたことを、各部会員に提出していただくよう要請しています。

## 市民協働に関するアンケート調査 (団体用)

### ● アンケートの目的

「対馬市市民協働推進指針」策定のため、市民活動団体の現状と活動状況及び協働に対する意識を把握し、指針に反映させることを目的に行います。

また、各市民活動団体の活動状況等を対馬市のホームページで公表・PR するなど、各団体の活動の一助とします。(掲載希望団体のみ)

### ● アンケートの対象

市内のNPO法人、ボランティアグループ、趣味のサークルなど対馬市内の市民による自主的なグループ・団体(市民活動団体)を対象として実施します。

(自治会や町内会や社団法人、協同組合等は除きます。)

### ● アンケートの内容

アンケート内容は次ページ以降のとおりですが、各質問内容の回答は、別紙の回答用紙にご記入しFAX 又は郵送でご返送ください。

アンケートに関するお問い合わせ・アンケート返送先

〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441

対馬市役所 政策部 政策企画課 市民協働班

TEL : (0920) 53-6111

FAX : (0920) 53-6112

# 市民協働に関するアンケート調査

Q1 団体の名称（ふりがな）

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

Q2 代表者名

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

Q3 活動分野（貴団体の活動で、あてはまる下記の活動分野の番号を（いくつでも）ご記入下さい。  
また、そのうち最も中心的に行っている分野の番号を（1つだけ）ご記入下さい。

- 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育の促進を図る活動
- 3 まちづくりの推進を図る活動
- 4 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 5 環境の保全を図る活動
- 6 災害救援活動
- 7 地域安全活動
- 8 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- 9 国際協力活動
- 10 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- 11 子どもの健全育成を図る活動
- 12 情報化社会の発展を図る活動
- 13 科学技術の振興を図る活動
- 14 経済活動の活性化を図る活動
- 15 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- 16 消費者の保護を図る活動
- 17 前16分野に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

活動分野の番号（上記のいくつでも）

最も中心的な活動分野（1つだけ）

Q4 活動内容（どういう活動を行っているか、わかりやすく簡潔にご記入下さい。主な年間行事を具体的に「〇月 △△イベント・・・」等と書いていただくとわかりやすいと思います。）

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

Q5 活動の日時及び地域

日時：定期的な活動日時が決まっていればご記入下さい

（例：毎月第2・第4 木曜日 19:00～22:00 等。）

活動地域：主に活動している地域をご記入下さい。

（例：対馬市内全域、〇〇地区など）

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

**Q6 市民へのメッセージ (PR)**

市民に対してメッセージ (団体及び事業の紹介等) をご記入下さい。

会員募集、行事等への参加依頼、市民に対してのPR等何でも結構です。

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

**Q7 貴団体の設立のきっかけはなんですか。該当する番号をご記入下さい。**

あわせて団体の設立年月日をご記入下さい。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 地縁組織       | 6 行政の呼びかけ   |
| 2 研修会や講座     | 7 趣味・同好の集まり |
| 3 職 場        | 8 個人的なつながり  |
| 4 他の市民グループ活動 | 9 その他       |
| 5 行政の会議      |             |

設立年月日：

昭和 平成 年 月 日

**Q8 日常的に活動されているメンバーで各年代別の人数をご記入下さい。**

10代	( 人)	50代	( 人)
20代	( 人)	60代	( 人)
30代	( 人)	70代以上	( 人)
40代	( 人)	計	( 人)

**Q9 会費・入会金についてご記入下さい。**

入会金：有 無 (有の場合、その金額 入会時のみ〇〇円等)

会 費：有 無 (有の場合、その金額 年又は月〇〇円等)

**Q10 事務所・連絡先等についてご記入下さい。**

所在地：〒

電話番号：

FAX番号：

ホームページアドレス：

Eメールアドレス：

**Q11 連絡担当者**

事務局等担当者の方をご記入下さい。(氏名、連絡先等)

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

ここまでは、各団体の基本的な事項をご記入していただきました。

対馬市では、各団体のPR及び各イベント等への協力呼びかけ等を行い、皆様の活動の一助になればと思っております。

上記Q1～Q11 までの情報を市のホームページでご紹介したいと思いますが、掲載をして欲しくない項目がありましたら、回答用紙の「公表の可否」欄に「×」をご記入下さい。



Q17 活動を進める上で困っている点、問題点等はなんですか。該当する項目の番号をご記入ください。  
(複数回答可)

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 1 メンバーの確保  | 6 自団体に対する理解が得られてない    |
| 2 リーダーの確保  | 7 地域や行政の協力が不十分        |
| 3 指導者の確保   | 8 メンバーの高齢化            |
| 4 資金の確保    | 9 その他 (具体的にお書きください。 ) |
| 5 会場・拠点の確保 |                       |

Q18 これまで他の市民活動団体と協力・連携しあったことがありますか。

- 1 ある                      2 ない

Q19 これまで行政と関わって困ったことがありますか。

- 1 ある                      2 ない

↓

Q19-2 困ったことはなんですか。該当する項目いくつでもOKです。

- ① 補助金などの事務手続きの煩雑
- ② 縦割りで部局間の調整がとれていない
- ③ 人事異動が激しい。対応は変わる。
- ④ 担当者に熱意がない。
- ⑤ その他 (具体的にお書きください。)

Q20 協働について具体的なイメージを持つことができますか。

- 1 持てる                      2 持てない

↓

Q20-2 では、持てない理由はなんですか。該当する項目の番号をご記入ください。

(複数回答可)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ① イメージがあいまいだから    | ⑤ 市民への押しつけと思うから       |
| ② イメージの趣旨があいまいだから | ⑥ 責任の所在が不明だから         |
| ③ 情報が不足しているから     | ⑦ 言葉と行動が不一致だから        |
| ④ 身近に感じられないから     | ⑧ その他 (具体的にお書きください。 ) |

Q21 あなたが考える「協働」のイメージはどれですか。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 官民の役割分担        | 5 行政改革の推進            |
| 2 市民団体に事務を委任すること | 6 地域コミュニティの再生        |
| 3 市民活動団体の支援・育成   | 7 その他 (具体的にお書きください ) |
| 4 地方分権の一環        |                      |

Q22 今後、市民活動団体と対馬市の協働をより進めるために、対馬市にはどんなことが必要ですか。該当する番号をご記入ください。(複数回答可)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 市民活動団体の実態や状況の把握  | 5 行政計画や施策のプロセスの公開    |
| 2 市民活動団体の活動を適正に評価  | 6 施策実施の初期段階からの市民との協働 |
| 3 庁内での横断的な連携       | 7 補助金など支援のあり方の見直し    |
| 4 行政施策や制度の積極的な情報公開 | 8 その他(具体的にお書きください)   |

Q23 今後、市民活動団体と対馬市の「協働」をより進めるためには、市民活動団体にはどのようなことが必要だと思いますか。該当する番号をご記入ください。(複数回答可)

- 1 団体として企画力や情報収集力などの能力を高めること
- 2 自らの団体に関する情報公開を十分に進めること
- 3 行政の制度やルールを理解すること
- 4 団体が自主財源の確保や財政基盤の強化を進めること
- 5 その他(具体的にお書きください。)

Q24 「協働」推進に関する指針づくりに盛り込む必要があると思うものは、何ですか。該当する項目いくつでもOKです。

- 1 進め方
- 2 定義
- 3 背景
- 4 具体例
- 5 その他(具体的にお書きください)

Q25 対馬市では、今市民協働推進の指針を策定中ですが、指針づくりについて、貴団体からのご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入下さい

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、本アンケートの回答を別紙「市民協働に関するアンケート回答用紙」にご記入いただき、FAX又は郵送(返信用封筒をご利用下さい)で下記宛送付下さい。

### お問い合わせ・返送先

〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441

対馬市役所 政策部 政策企画課 市民協働班 宛

電話 (0920) 53-6111

FAX (0920) 53-6112

ふりがな				Q1	団体の名称	
Q2 代表者名						
Q3 活動分野	活動分野の番号(いくつでも)				番号で回答 下さい	
	<input type="text"/>					
Q4 活動内容	最も中心的な活動分野の番号(1つだけ)				番号で回答 下さい	
	<input type="text"/>					
Q5 活動日時				Q6 市民への メッセージ(PR)		
活動地域						
Q7 設立のきっかけ				Q8 年代別会員数	10代( 人)      40代( 人)      70代以上( 人) 20代( 人)      50代( 人) 30代( 人)      60代( 人)      合計( 人)	
設立年月日	昭和・平成	年	月			
Q9 会費・入会金	会費(年・月	円)	入会金(	円)		
Q10	事務所所在地	〒 817- 対馬市				
	電話番号	0920-				
	F A X 番号	0920-				
	ホームページの開設	有 (アドレス	)	無		
	Eメールアドレス	有 (アドレス	)	無		
Q11 連絡担当者	事務局担当者氏名:					
	事務局担当者連絡先:					

市民協働に関するアンケート回答用紙

No.2

Q12 「ひと」についての課題悩み	番号で回答下さい [ ] 回答が「1ある」の場合は、右のQ12-2にもご回答下さい	Q12-2 [ ]	③その他を選んだ場合、ここに具体的な課題や悩みをお書き下さい
Q13 最も多い財源	番号で回答下さい [ ]	⑥その他を選んだ場合、その内容を具体的にお書き下さい	
Q14 増やしたい財源	番号で回答下さい [ ]	回答に「6その他」がある場合、その内容を具体的にお書き下さい	
Q15 不足している資金	番号で回答下さい [ ]	回答に「9その他」がある場合、その具体的な資金をご記入下さい	
Q16 必要な情報	番号で回答下さい [ ]	回答に「5その他」がある場合、その具体的な内容をご記入下さい	
Q17 困っている点、問題点等	番号で回答下さい [ ]	回答に「9その他」がある場合、その具体的な内容をご記入下さい	
Q18 他の市民団体との協力・連携	番号で回答下さい [ ]		
Q19 行政と関わって困ったこと	番号で回答下さい [ ] 回答が「1ある」場合は、右のQ19-2にもご回答下さい	Q19-2 [ ]	回答に⑤その他がある場合、その内容を具体的にご記入下さい。
Q20 協働のイメージを持てますか	番号で回答下さい [ ] 回答が「2持てない」場合は、右のQ20-2にもご回答下さい	Q20-2 [ ]	回答に⑧その他がある場合、その内容を具体的にご記入下さい。
Q21 「協働」のイメージ	番号で回答下さい [ ]	回答に「7その他」がある場合、その具体的な内容をご記入下さい	
Q22 協働を進めていくため市に必要なもの	番号で回答下さい [ ]	回答に「8その他」がある場合、その具体的な内容をご記入下さい	
Q23 協働を進めていくため市民活動団体に必要なもの	番号で回答下さい [ ]	回答に「5その他」がある場合、その具体的な内容をご記入下さい	
Q24 指針づくりに盛り込むもの	番号で回答下さい [ ]	回答に「5その他」がある場合、その具体的な内容をご記入下さい	
Q25 ご意見・ご要望			

ご協力ありがとうございました。

アンケートに関する問い合わせ、回答用紙返送先

〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441

対馬市役所 政策部 政策企画課 市民協働班

電話(0920)53-6111

FAX(0920)53-6112

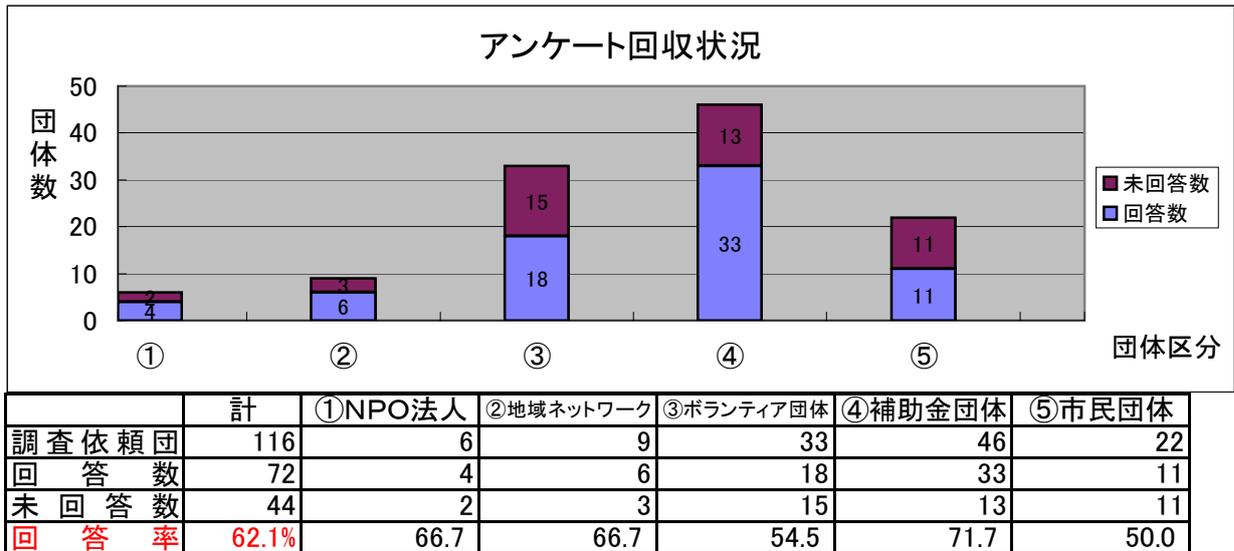
## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

### 1. 調査の目的

対馬市では、①「対馬市市民協働推進指針」策定のため、市民活動団体の現状と活動状況及び協働に対する意識を把握し、指針に反映させること ②各市民活動団体の活動状況等を対馬市のホームページで公表・PRするなど、各団体の活動の一助とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

### 2. 調査の対象

調査対象としては、対馬市内で活動している団体(NPO法人、ボランティアグループ、サークルなどの市民活動団体など)を対象にアンケート用紙を送付し、その団体より回答していただきました。

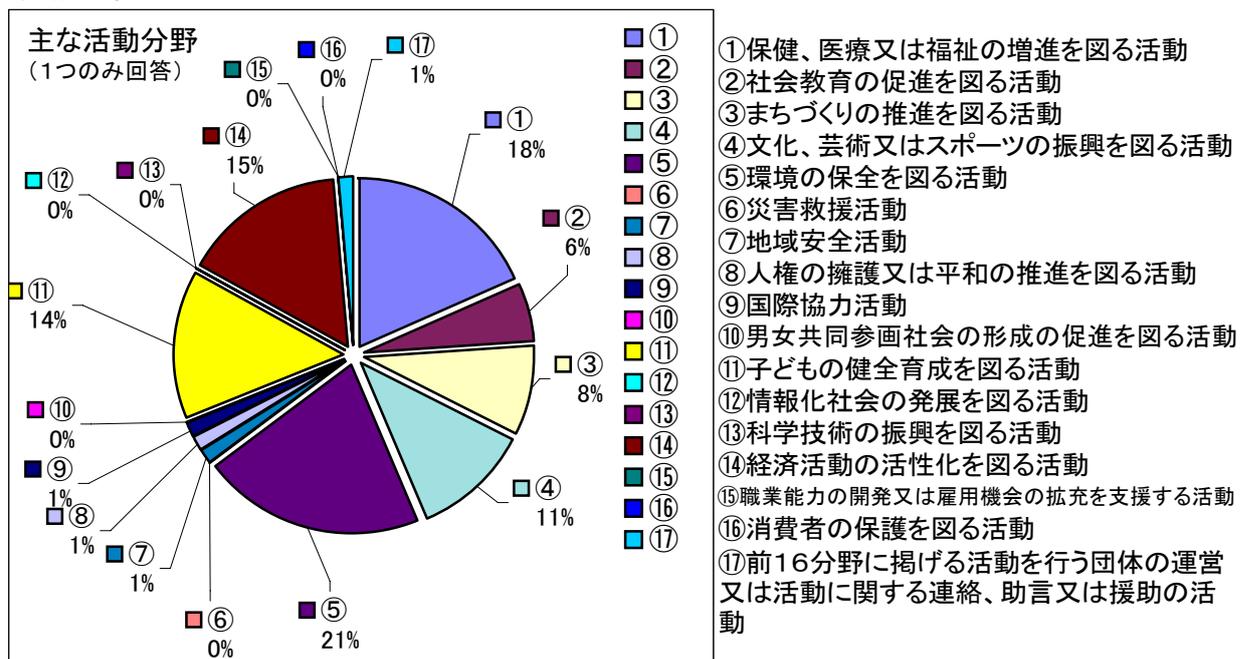


アンケート調査依頼数は116団体でしたが、回答は72団体、回収率62.1%でした。

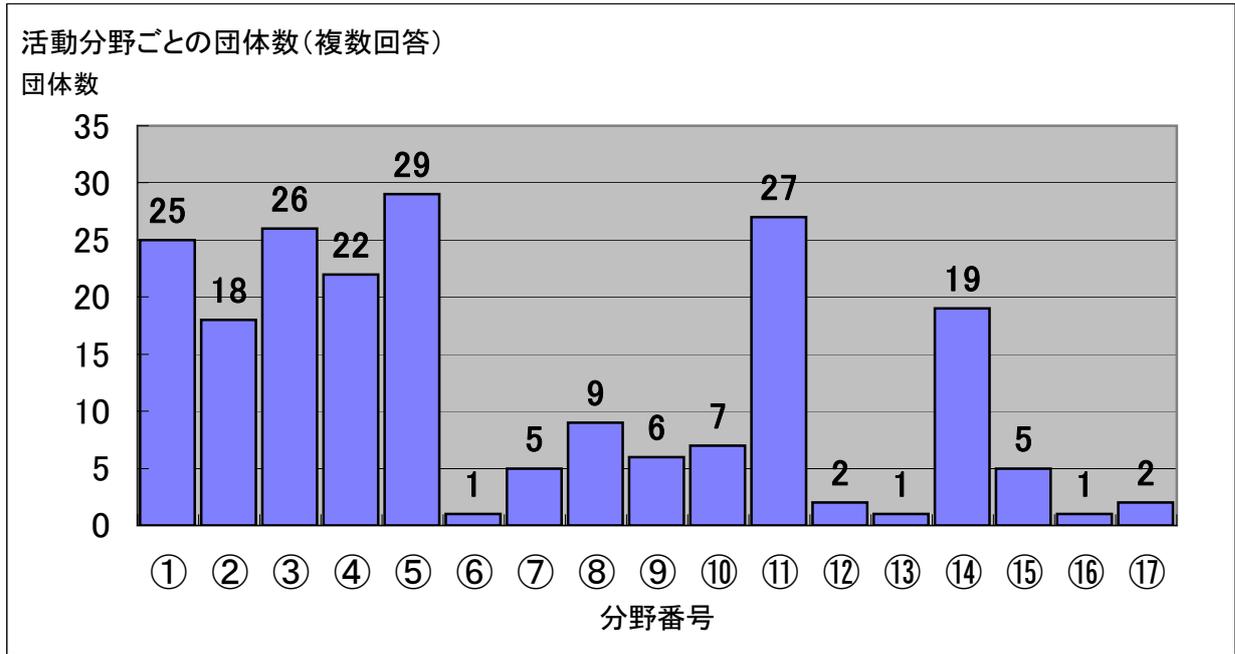
団体区分別では、「①NPO法人(4団体)」、「②地域ネットワーク(6団体)」、「③ボランティア団体(18団体)」、「④補助金団体(33団体)」、「⑤市民団体(11団体)」より回答をいただきました。

### 3. 項目別調査結果(基本事項)

#### Q3 活動分野



## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)



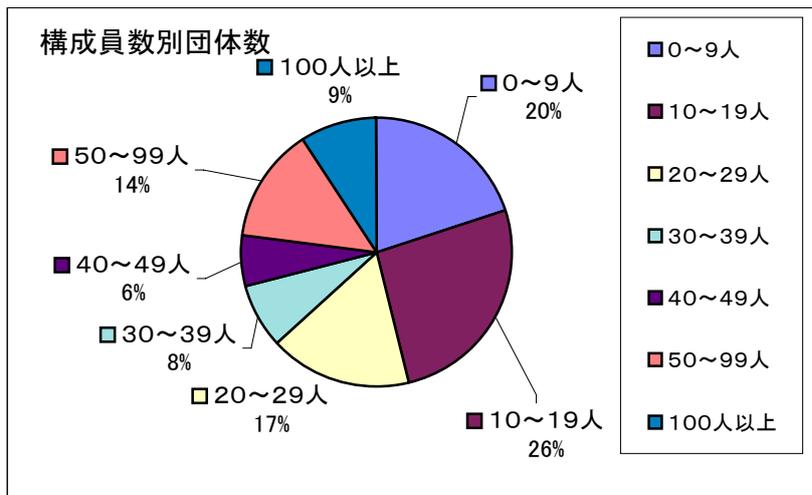
(単位:団体数)

分野	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	計
主たる分野	13	4	6	8	15	0	1	1	1	0	10	0	0	11	0	0	1	71
該当団体数	25	18	26	22	29	1	5	9	6	7	27	2	1	19	5	1	2	205

主な活動分野については、「5環境の保全を図る活動」が最も多く、次いで「1保健、医療又は福祉の増進を図る活動」「14経済活動の活性化を図る活動」「11子供の健全育成を図る活動」と回答した団体が多くなっている。

また、各団体の活動分野を複数回答形式で質問したところ、「5環境の保全を図る活動」、「11子供の健全育成を図る活動」、「3まちづくりの推進を図る活動」、「1保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の順に多くなっている。

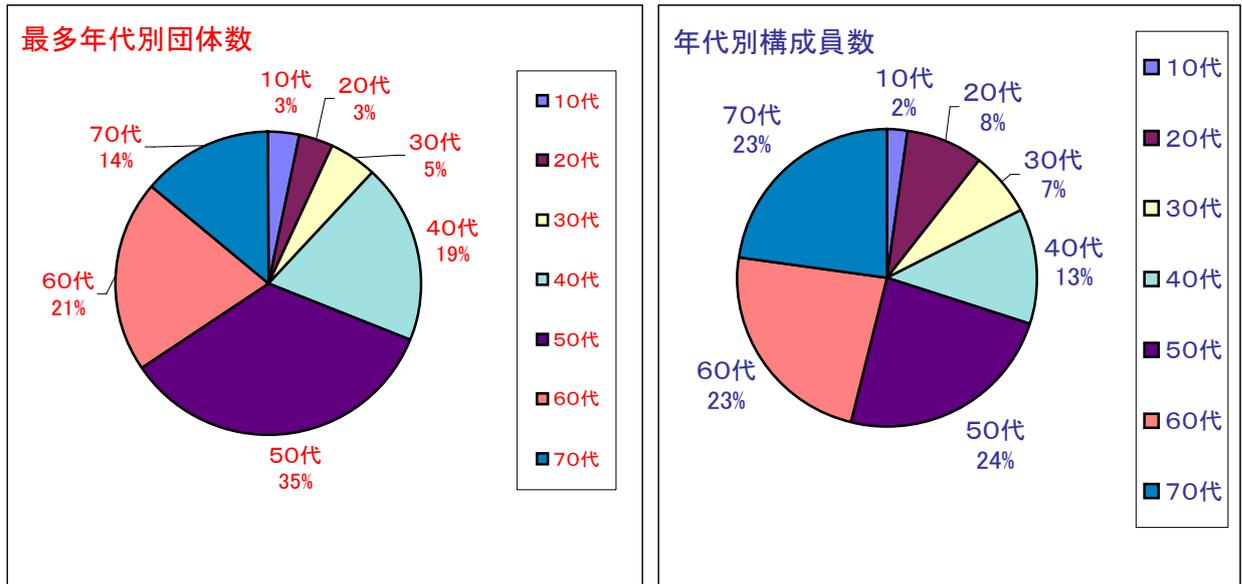
### Q8 構成員・年代別構成



規模人数	団体数
0~9人	13
10~19人	17
20~29人	11
30~39人	5
40~49人	4
50~99人	9
100人以上	6
計	65

各団体を構成員数別に見ると、会員数欄に回答があった65団体中、41団体が30人未満の構成となっており、構成員数が10人未満の団体は13団体(20%)となっている。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

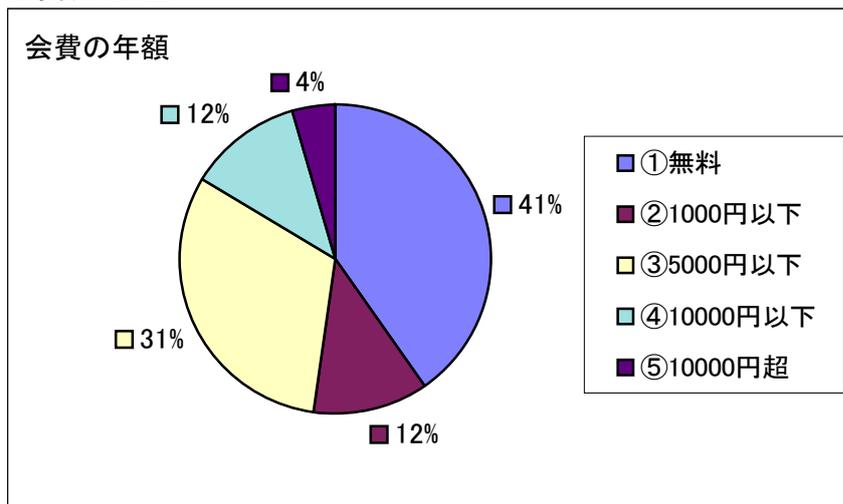


	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
多い年代別	2	2	3	11	20	12	8	58
構成員数	40	144	120	221	420	406	399	1,750

年代別構成員に回答していただいた団体(58団体、1,750人)を、最多年代別に見ると、50代とする団体が最も多く、次いで60代、40代と続いている。

また、全体を年代別に見ると、60代以上が46%を占め、20～40代は28%と少なく、構成員の高齢化が顕著に表れている。

### Q9 会費、入会金

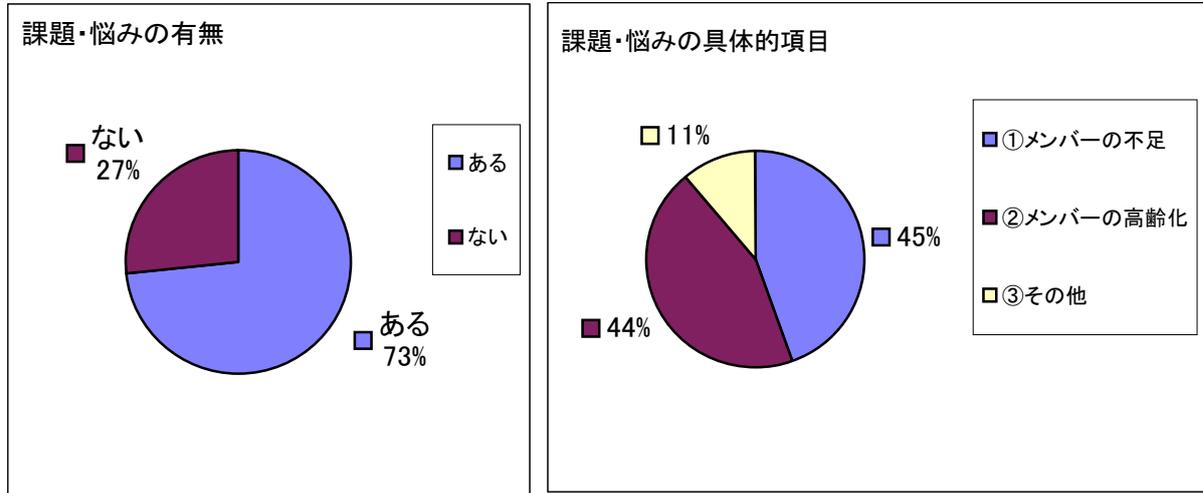


会費区分	団体数
①無料	27
②1000円以下	8
③5000円以下	21
④10000円以下	8
⑤10000円超	3
計	67

会費(年額)の徴収状況を見ると、「①徴収していない団体」が41%となっている。徴収している団体の内、③10000円超～5000円以下が31%となっている。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

### Q12 人についての課題・悩み



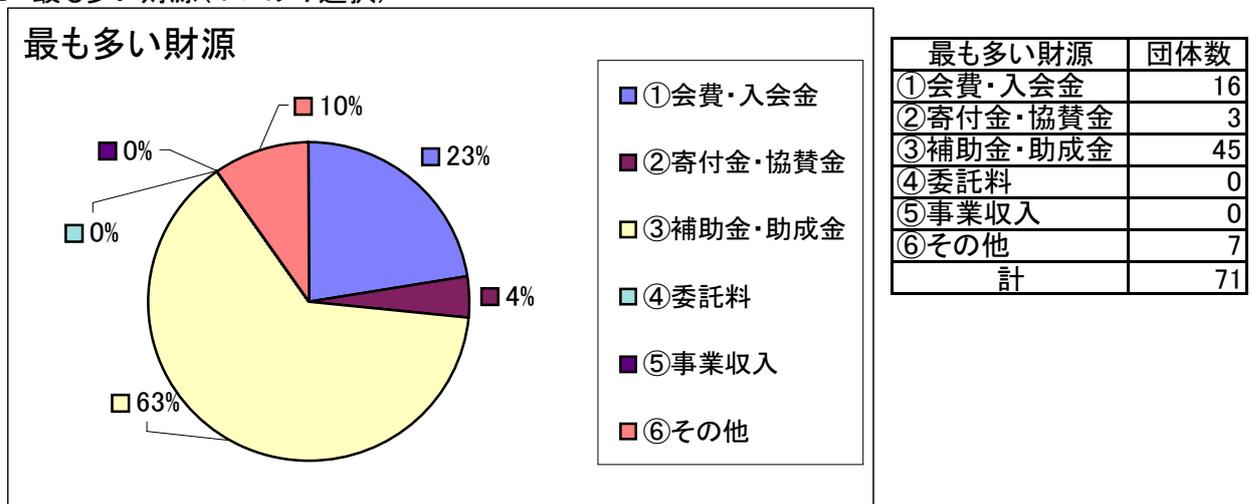
人についての課題・悩み	ある	ない	計
	52	19	71

課題・悩みの項目	①	②	③	計
	28	28	7	63

人についての課題・悩みの有無については、「ある」と回答した団体が73%で、その内「①メンバーの不足」、「②メンバーの高齢化」がその殆どを占めている。

その他の項目としては、「事務局の人員不足」や「出席者が少ない」等の課題であった。

### Q13 最も多い財源(1つのみ選択)



最も多い財源	団体数
①会費・入会金	16
②寄付金・協賛金	3
③補助金・助成金	45
④委託料	0
⑤事業収入	0
⑥その他	7
計	71

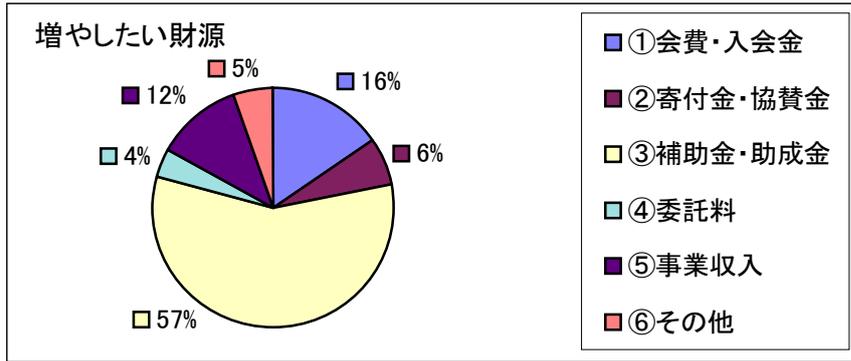
各団体に最も多い財源は何ですかという質問に対しては、「③補助金・助成金」とした団体が63%と最も多く、次いで「①会費・入会金」となっている。

「④委託料」「⑤事業収入」と回答した団体は無く、各団体とも活動資金を補助金・助成金に頼っている傾向が強い。

「⑥その他」には、会員の自己負担金(会費以外)やイベント出演謝礼等である。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

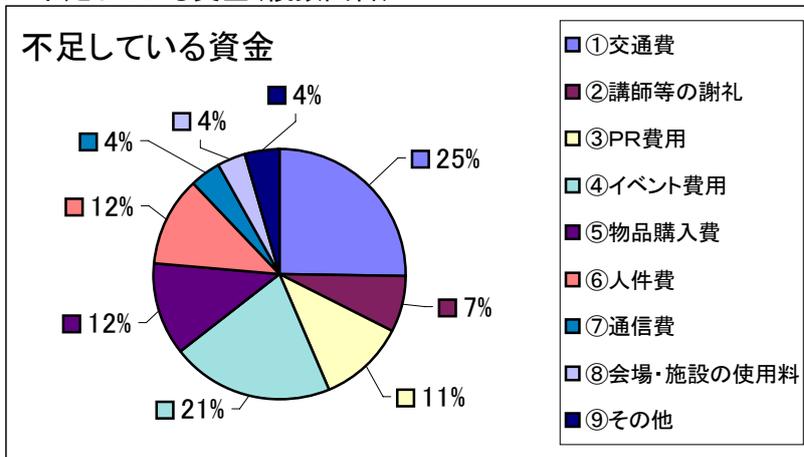
### Q14 増やしたい財源(複数回答)



項目	件数
①会費・入会金	12
②寄付金・協賛金	5
③補助金・助成金	44
④委託料	3
⑤事業収入	9
⑥その他	4
計	77

今後増やしたい財源についても、「③補助金・助成金」と回答した団体が57%を占め、「①会費・入会金」、「⑤事業収入」と続いている。  
「⑥その他」としては、「謝礼金」が1件で、他は無回答であった。

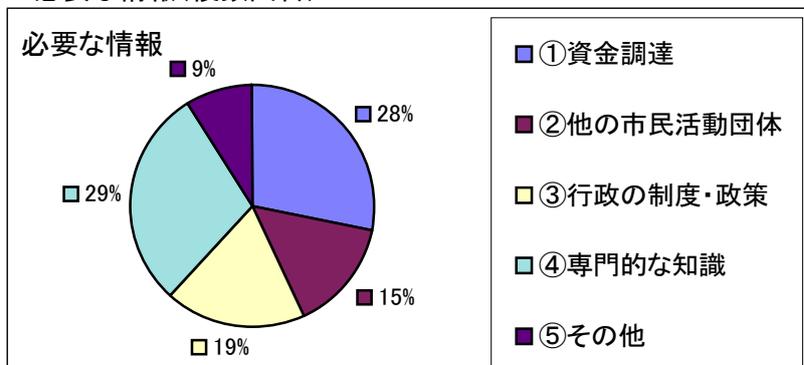
### Q15 不足している資金(複数回答)



項目	件数
①交通費	34
②講師等の謝礼	10
③PR費用	15
④イベント費用	28
⑤物品購入費	16
⑥人件費	16
⑦通信費	5
⑧会場・施設の使用料	5
⑨その他	6
計	135

不足している資金については、「①交通費」、「④イベント費用」と答えた団体が多く、各団体とも活動を行っていく上で、大きな負担となっているようである。  
次いで、「⑤物品購入費」、「③PR費用」、「⑥人件費」と続いている。  
その他の意見としては、「修理代」「漁船借上料」「機関誌発行代」などであった。

### Q16 必要な情報(複数回答)

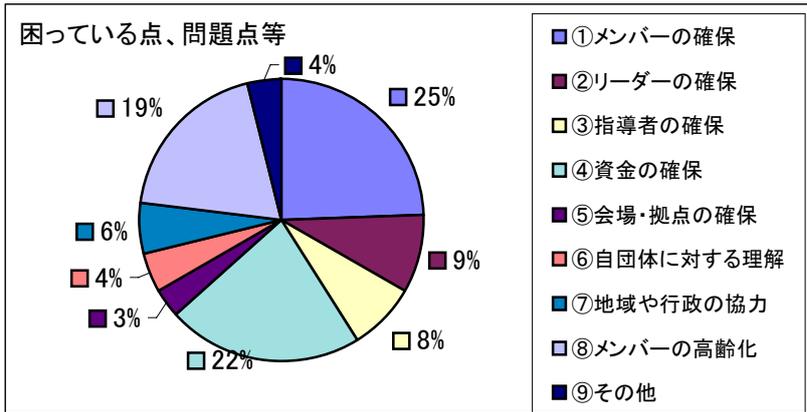


項目	件数
①資金調達	29
②他の市民活動団体	15
③行政の制度・政策	19
④専門的な知識	30
⑤その他	9
計	102

活動をしていく上で必要な情報としては、「④専門的な知識に関する情報」「①助成金など資金調達に関する情報」「③行政の制度・政策に関する情報」の順に多くなっている。  
「②他の市民活動団体に関する情報」に回答した団体は、15%にとどまっている。  
「⑤その他」の意見としては、「イベントの情報」や「(その団体の活動の)受入先」を求める意見であった。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

### Q17 活動を進める上で困っている点、問題点等(複数回答)

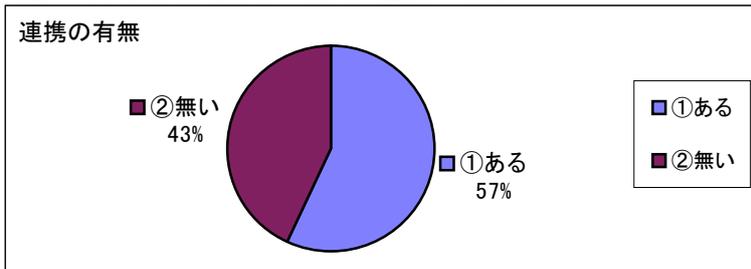


項目	回数
①メンバーの確保	38
②リーダーの確保	14
③指導者の確保	12
④資金の確保	35
⑤会場・拠点の確保	5
⑥自団体に対する理解	7
⑦地域や行政の協力	9
⑧メンバーの高齢化	30
⑨その他	6
計	156

困っている点、問題点等に対しては、「①メンバーの確保」「④資金の確保」「⑧メンバーの高齢化」を掲げている団体が多く、ここでも財政面や人員確保に関する問題点をかかえている団体が多いということが現れている。

「⑨その他」の意見では、「仕事をしているので活動に対する時間が取れない」「専従の事務局が不在」「対馬が広すぎる」などの意見であった。

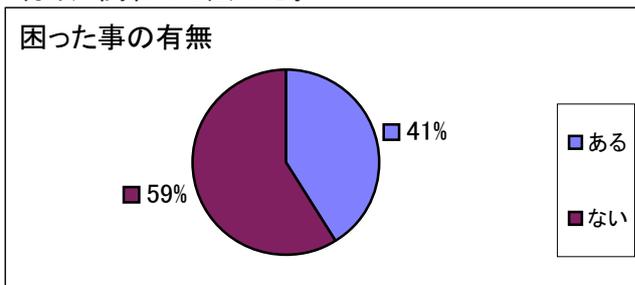
### Q18 他の市民活動団体との協力・連携の有無



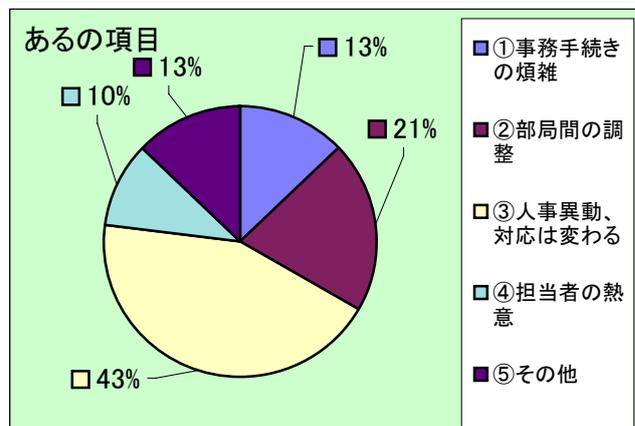
項目	①ある	②無い	計
連携の有無	41	31	72

他の団体との連携の有無については、「①ある」と答えた団体が57%、「②無い」と答えた団体が43%であった。

### Q19 行政と関わって困った事



項目	回数
ある	28
ない	40
①事務手続きの煩雑	5
②部局間の調整	8
③人事異動、対応は変わる	17
④担当者の熱意	4
⑤その他	5
計	107



行政と関わって困った事がありますか。という質問に対しては、41%の団体が「ある」と答えている。

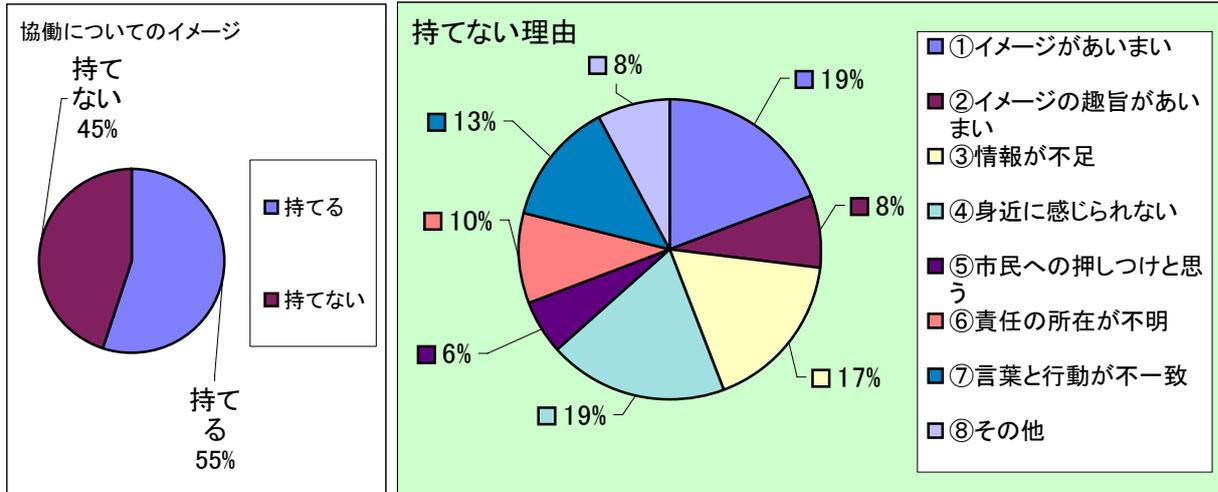
その具体的な項目としては、「③人事異動が激しい。対応は変わる。」の項目が43%にもなっている。

次いで「②縦割りで部局間の調整が取れていない」が21%であった。

「⑤その他」の意見としては、「行政が無関心」「事務局に行政の担当者が入ってほしい」などである。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

### Q20 協働についてのイメージについて

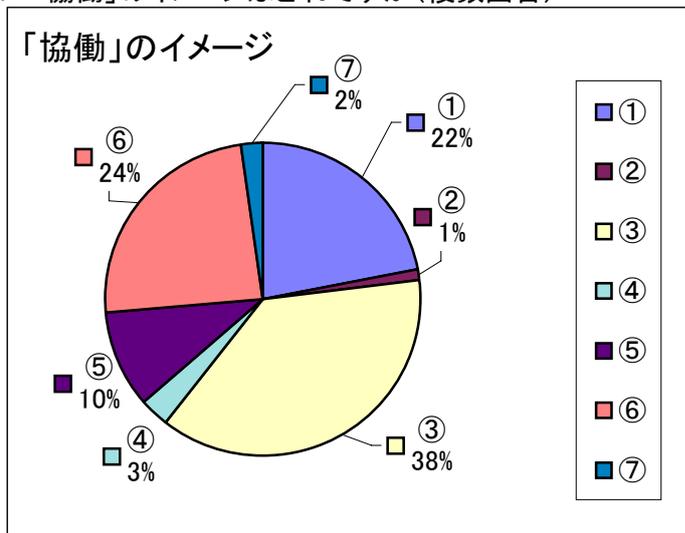


協働についてのイメージ	持てる	持てない	持てない理由(複数回答)								計
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
	38	31	10	4	9	10	3	5	7	4	52

協働について具体的なイメージを持つことができますか。という質問に対しては、55%の団体が「持てる」と回答している。

持てないと回答した団体に、その理由を求めたところ、「①イメージがあいまいだから」と「④身近に感じられないから」がそれぞれ19%、「③情報が不足しているから」が17%となっており、「⑧その他」の意見の中にも「意味がわかりにくい」などの意見があり、「協働のイメージやシステム」がまだまだ市民に浸透していないことがうかがえる。

### Q21 「協働」のイメージはどれですか(複数回答)



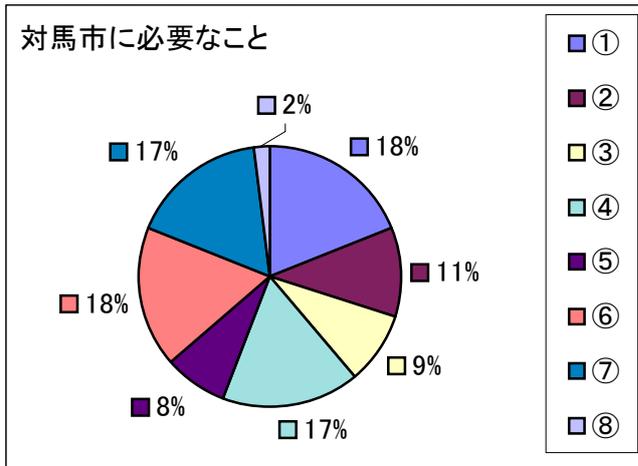
「協働」のイメージ	
①官民の役割分担	20
②市民団体に事務を委任すること	1
③市民活動団体の支援・育成	34
④地方分権の一環	3
⑤行政改革の推進	9
⑥地域コミュニティの再生	22
⑦その他	2
計	91
実回答数	68

「協働」のイメージはどれですか。という質問に対しては、「③市民活動団体の支援育成」と回答した団体が最も多く、次いで「⑥地域コミュニティの再生」、「①官民の役割分担」の順となっている。

「⑦その他」は、「意味がわからない」という意見であった。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

### Q22 協働を進めるために、対馬市に必要なこと(複数回答)

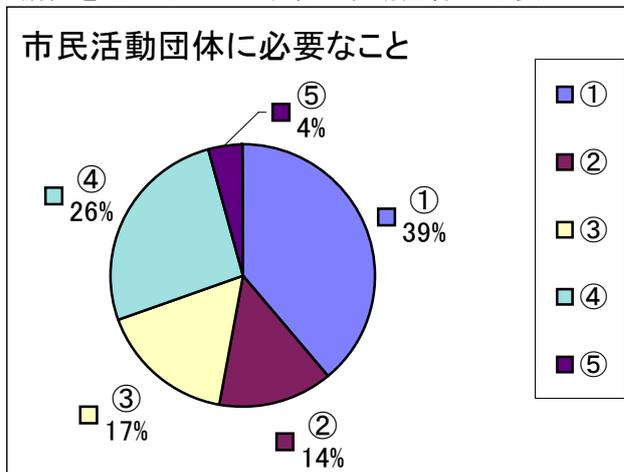


対馬市に必要なこと	
①市民活動団体の実態や状況の把握	29
②市民活動団体の活動を適正に評価	17
③庁内での横断的な連携	14
④行政施策や制度の積極的な情報公開	26
⑤行政計画や施策のプロセスの公開	12
⑥施策実施の初期段階からの市民との協議	27
⑦補助金など支援のあり方の見直し	26
⑧その他	3
計	154

市民活動団体と対馬市の協働をより進めるために、対馬市にはどんなことが必要ですか。という質問に対しては、「①市民活動団体の実態や状況の把握」、「⑥施策実施の初期段階からの市民との協議」、「④行政施策や制度の積極的な情報公開」、「⑦補助金など支援のあり方の見直し」などに多数の回答があった。

「⑧その他」では、「行政との距離感がある」という意見があった。

### Q23 協働を進めるために、市民活動団体に必要なこと(複数回答)



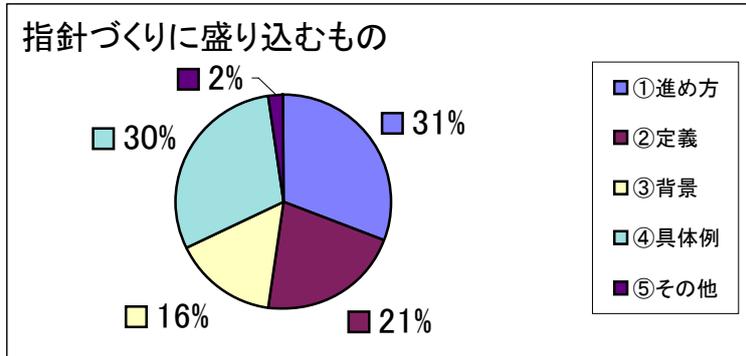
市民活動団体に必要なこと	
①企画力や情報収集力などの能力	47
②自団体に関する情報公開	17
③行政の制度やルールを理解	20
④自主財源の確保や財政基盤の強化	32
⑤その他	5
計	121

市民活動団体と対馬市の協働を進めるためには、市民活動団体にはどんなことが必要ですか。という質問に対しては、「①団体として企画力や情報収集力などの能力を高めること」が最も多く、次いで「④団体が自主財源の確保や財政基盤の強化を進めること」であった。

「⑤その他」では、「奉仕の精神」「夢」などの意見があった。

## 市民協働に関するアンケート集計結果(団体)

### Q24 指針づくりに盛り込む必要があるもの(複数回答)



指針づくりに盛り込むもの	
①進め方	43
②定義	30
③背景	22
④具体例	42
⑤その他	3
計	140

「協働」推進に関する指針づくりに盛り込む必要があると思うものは何ですか。と質問に対しては、「①進め方」「④具体例」が多く、あと「②定義」、「③背景」の順となっている。

## 協働に関するアンケート調査（職員用）

- アンケートの目的  
職員の協働に関する取り組みの意識及び現状と課題を把握し、指針に反映させることを目的に行います。
- アンケートの対象  
全職員を対象として実施します。
- 回答方法  
各質問の回答を、別紙市民協働に関するアンケート回答用紙（職員用）に転記し市民協働班へご返送下さい。  
なお、個人名等は、回答の有無を把握するために利用しますが、集計時には、個人を特定できるような内容については表示しませんのでご協力よろしくお願いします。
- 問い合わせ先・アンケート返送先  
対馬市政策部 政策企画課 市民協働班  
〒817-0022 対馬市厳原町国分1441  
TEL (0920) 53-6111  
FAX (0920) 53-6112  
Eメール：[kikakuka@city-tsushima.jp](mailto:kikakuka@city-tsushima.jp)（政策企画課 代表メール）

<「協働」に対する意識>

Q1 あなたが考える対馬市の協働のイメージは、次のどれに近いですか。あてはまる項目の番号をご記入ください。（複数回答可）

- 1 協働とは、官民の役割分担である
- 2 協働とは、市民活動団体（NPO・ボランティア団体）を支援したり、育成したりすることである。
- 3 協働とは、市民活動団体（NPO・ボランティア団体）に事業を委託することができる。
- 4 協働とは、地方分権（地域内分権または住民自治）の一環である。
- 5 協働とは、行政改革を進めるためのものである。
- 6 協働とは、地域コミュニティの再生のためのものである。
- 7 その他

<市民参加>

**Q2** (自分が担当する事務に関する計画の策定や事業で導入した)市民参加は、どのような形での参加でしたか。また、どの段階での参加でしたか。それぞれあてはまる項目の番号をご記入ください。

**Q2-1 市民参加の形**

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1 審議会・審査会・委員会等 | 5 イベントへの参加  |
| 2 実行委員会・運営委員会等 | 6 その他(具体的に) |
| 3 アンケート        |             |
| 4 パブリックコメント    |             |

**Q2-2 市民参加の段階**

- 1 計画策定・事業計画への参加(内容を決定するレベル)
- 2 計画策定・事業計画への参加(参考情報として市民の意見をj得るレベル)
- 3 事業実施への参加
- 4 評価への参加
- 5 その他

**Q3** 市民参加を行うことによってプラス効果を感じましたか。1または2を選び、1の場合はその理由をお選びください。

- 1 感じた                      2 感じなかった

↓

**Q3-1 感じた場合のその理由は、(複数回答可)**

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 より良い政策決定ができた     | 6 議会や市民への説明が容易になった |
| 2 充実した事業を行うことができた  | 7 市民の考えを知ることができた   |
| 3 十分な情報共有ができた      | 8 やりがい・達成感を味わえた    |
| 4 職員自身の政策理解度が深まった  | 9 その他              |
| 5 実施段階で市民の反発が軽減された |                    |

**Q4** 市民参加を行うことによって、何か問題がありましたか。1または2を選び、1の場合はその理由をお選びください。

- 1 問題があった              2 問題がなかった

↓

**Q4-1 問題があった場合のその理由は、(複数回答可)**

- 1 市民の意見が要望、要求型である
- 2 時間と手間がかかる

- 3 市民同士の意見が対立し、まとまらない
- 4 意見が堂々巡りし、内容が深まらない
- 5 市民参加に対する庁内の理解が得られない
- 6 参加した市民が市民の代表とはいえない
- 7 参加してくれる市民が少ない
- 8 その他

<団体との協働>

**Q5** あなたが市民活動団体と協働を進めるうえで、課題だと感じていることや不安に思っていることはありますか。

- 1 ある
- 2 ない

↓

**Q5-1** 「1ある」と答えた方にお尋ねします。

その課題や不安について、市民活動団体に関し、どのような点について改善は必要だと思いませんか。あてはまる項目をお選びください。(複数回答 可)

- 1 企画力の向上
- 2 専門知識やノウハウの蓄積
- 3 団体の組織体制の充実
- 4 責任体制の確保
- 5 行政依存体質の改善
- 6 人材の育成
- 7 行政の制度やルールへの理解を深めること
- 8 その他

**Q5-2** その課題や不安について、市役所に関し、どのような問題があると思いませんか。

あてはまる項目をお選びください。(複数回答可)

- 1 前例踏襲主義
- 2 上司の理解・賛同
- 3 予算の不安
- 4 提出文書の煩雑
- 5 団体に関する情報の不足
- 6 部局間の連携不足
- 7 協働のルールが未確立
- 8 行政のサポート（指導・助言・助成制度）
- 9 その他

**Q6** あなたは、今後、対馬市と市民活動団体が協働を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いませんか。ご自由にお書きください。

別紙回答用紙へご記入下さい

<団体と団体の協働>

**Q7** あなたは、今後、市民活動団体同士が協働を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いませんか。ご自由にお書きください。

別紙回答用紙へご記入下さい

Q8 あなたが個人的に所属・活動している市民活動団体はありますか？

- 1 ある                      2 ない

※ 「1ある」と回答された方は、お手数ですが次の項目にもご協力をお願いします。  
「2ない」と回答された方は、アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

Q9 あなたが個人的に所属・活動している市民活動団体の名称、その団体での役職及び年数を教えてください。複数の団体に所属している場合は、それぞれごとにご記入下さい。

別紙回答用紙へご記入下さい

ご協力ありがとうございました

## 市民協働に関するアンケート回答用紙(職員用)

回答者	部署名	年齢
	氏名	性別
	居住地区名	
Q1 協働のイメージ	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「7その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q2-1 市民参加の形	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「6その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q2-2 市民参加の段階	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「5その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q3 市民参加によるプラス効果	番号をご記入下さい <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 回答が「1感じた」の場合、Q3-1にもご回答下さい。	
Q3-1 プラス効果の理由	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「9その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q4 市民参加による問題点	番号をご記入下さい <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 回答が「1問題があった」の場合、Q4-1にもご回答下さい。	
Q4-1 問題点の理由	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「8その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q5 団体との協働に係る課題	番号をご記入下さい <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 回答が「1ある」の場合、Q5-1にもご回答下さい。	
Q5-1 団体に対する改善策	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「8その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q5-2 市に対する改善策	番号をご記入下さい <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	回答に「9その他」がある場合は、その内容を具体的に記入下さい。
Q6 市と団体が協働を進めていく上で必要なこと		
Q7 市民活動団体同士が協働を進めていく上で必要なこと		
Q8 個人的に所属・活動している団体	番号をご記入下さい <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 回答が「1ある」の場合、裏面にもご回答下さい。	

ご協力ありがとうございました。

こちらの面は、Q8の質問で「1ある」と回答した方を対象とします。

市民協働に関するアンケート回答用紙(職員用) No.2

	団体の名称	その団体での役職	活動(所属)年数
Q9			
個人的に所属・活動をしている団体の名称及び役職			

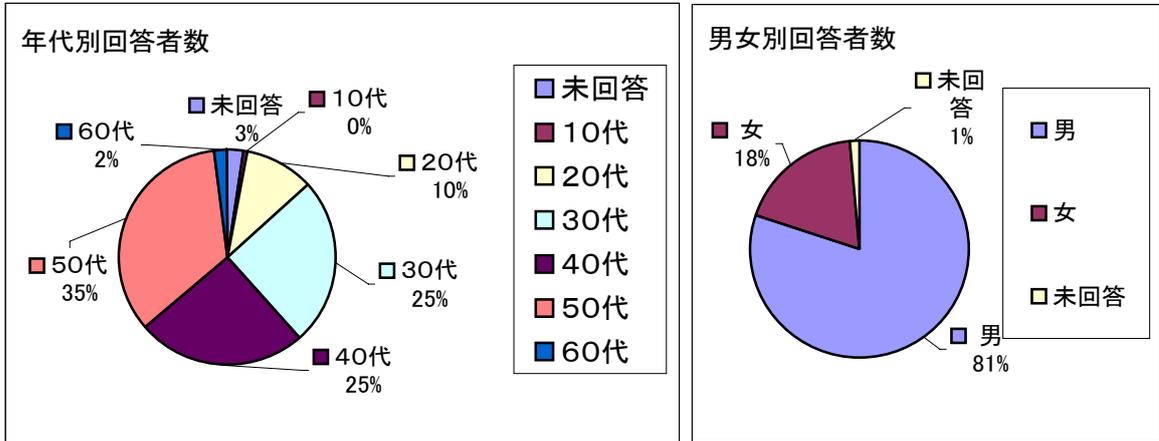
# 協働に関するアンケート調査集計結果(職員)

## 1 アンケート調査の目的

職員の協働に関する取り組みの意識及び現状と課題を把握し、指針に反映させることを目的に、対馬市職員全員を対象としてアンケート調査を実施しました。

## 2 アンケート対象数

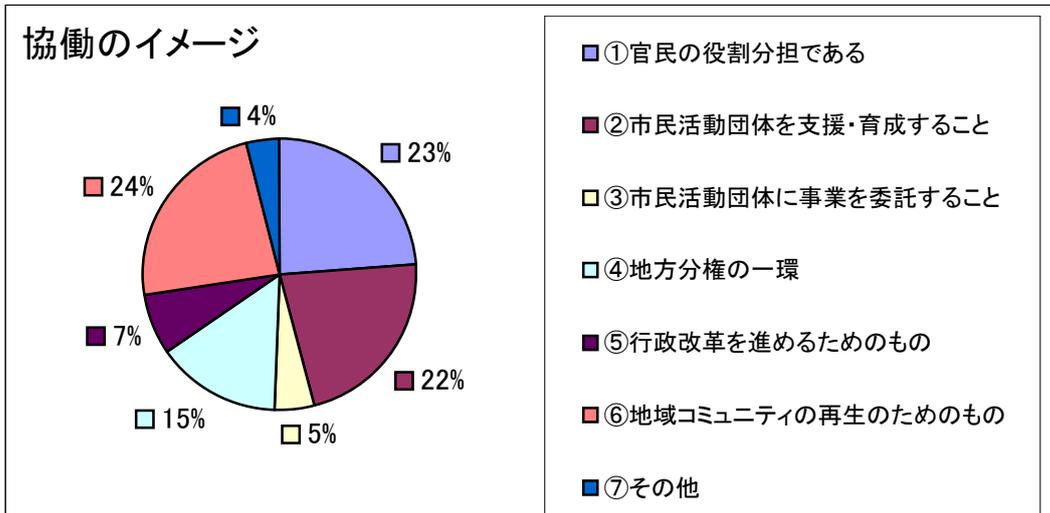
職員の内、保育所などの嘱託職員等を除く職員を対象に行いました。回答状況は次のとおりです。



年代別回答者数	未回答	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
アンケート依頼数									732
アンケート回答数	12	2	49	118	119	163	9	0	472
<b>回答率(%)</b>									<b>64.5</b>
男女別回答者数	男	女	未回答	計					
	378	87	7	472					

## 3 項目別分析結果

### Q1 協働のイメージ(複数回答)

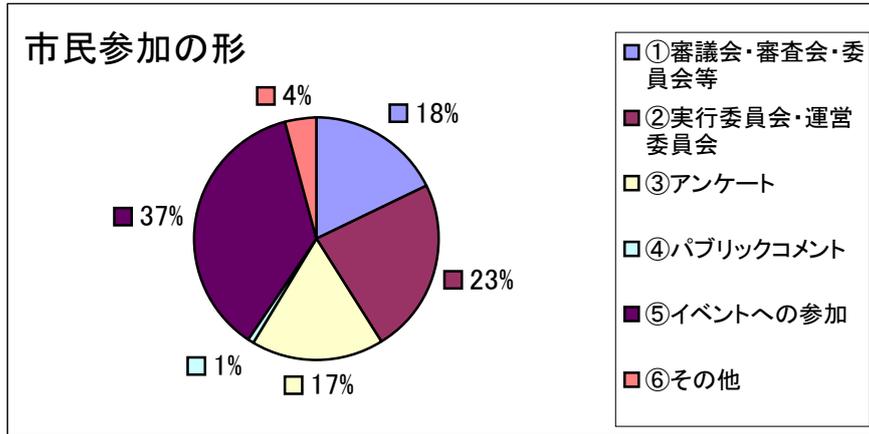


協働のイメージは？	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計	有効回答者数
	182	169	36	112	56	182	29	766	465

対馬市の協働のイメージは、どれに近いですか。という質問に対し、「①官民の役割分担である」、「⑥地域コミュニティの再生のためのもの」との回答が最も多く、次いで「②市民活動団体を支援・育成すること」、「④地方分権の一環」の順に意見が多かった。

## 協働に関するアンケート調査集計結果(職員)

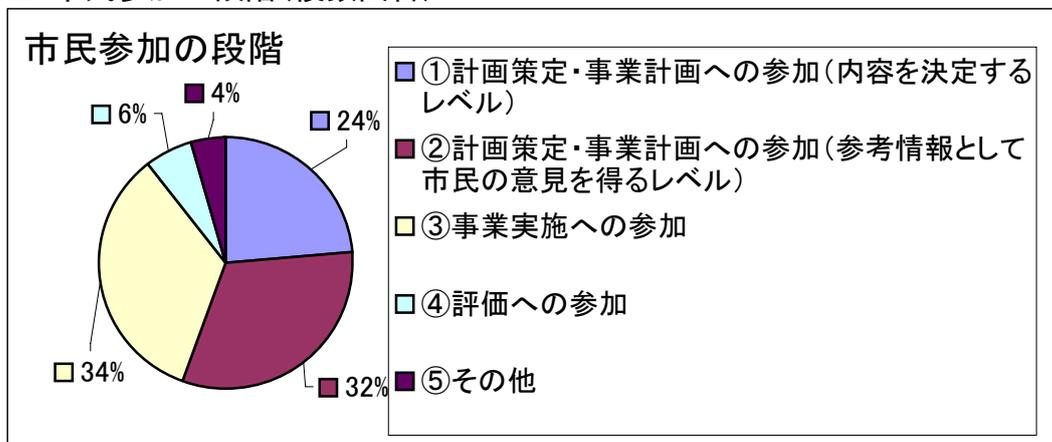
### Q2-1 市民参加の形(複数回答)



市民参加の形	①	②	③	④	⑤	⑥	計	有効回答者数
	79	104	78	4	162	19	446	339

自分が担当する事務に関する計画の策定や事業で導入した市民参加は、どのような形での参加でしたか。の質問に対しては、アンケート回答者472名中339名が回答しており、「⑤イベントへの参加」「②実行委員会・運営委員会」の回答が大半を占めている。回答がなかった133名については、担当する事務での導入がなかったものという意見が多かった。「⑥その他」意見では、「研修会」「座談会」「ワークショップ」などであった。

### Q2-2 市民参加の段階(複数回答)

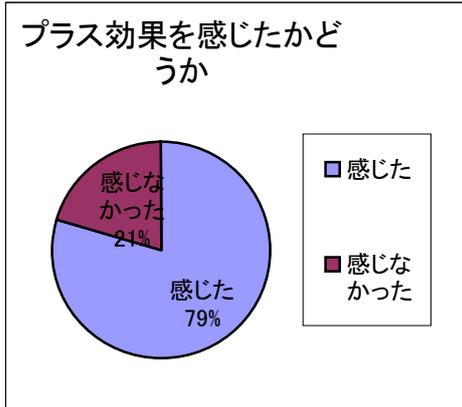


市民参加の段階	①	②	③	④	⑤	計	有効回答者数
	96	129	138	25	18	406	341

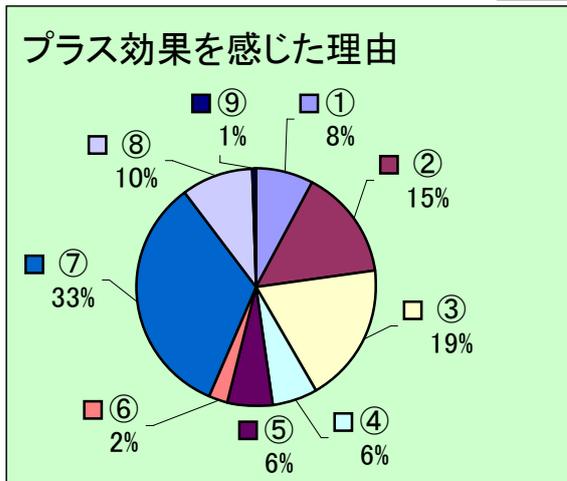
市民参加の導入の段階を尋ねたところ、341名が回答し、「③事業実施への参加」、「②計画策定・事業計画への参加(参考情報として市民の意見を得るレベル)」の回答が多く、「①計画策定・事業計画への参加(内容を決定するレベル)」が次に多くなっている。

## 協働に関するアンケート調査集計結果(職員)

### Q3 市民参加によるプラス効果を感じたか



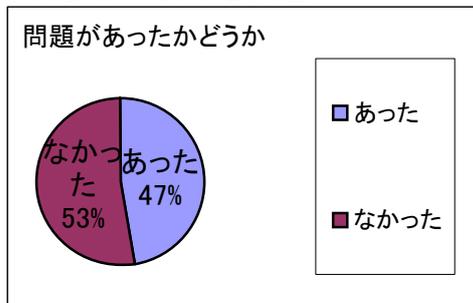
プラス効果を感じたか	感じた	感じなかった	計
	269	70	339
感じた理由 (複数回答)	①より良い政策決定ができた		38
	②充実した事業を行うことができた		74
	③十分な情報共有ができた		94
	④職員自身の政策理解度が深まった		30
	⑤実施段階で市民の反発が軽減された		30
	⑥議会や市民への説明が容易になった		12
	⑦市民の考えを知ることができた		165
	⑧やりがい・達成感を味わえた		47
	⑨その他		3
	計		



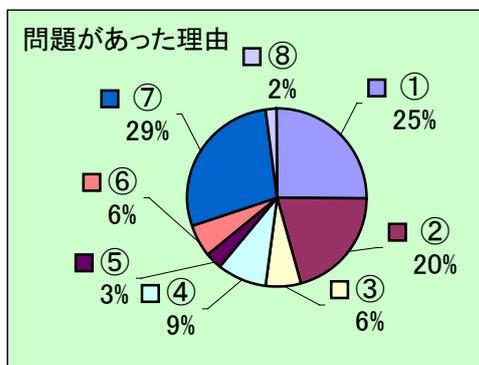
市民参加によりプラス効果を感じたかどうかという質問に対しては、79%の方が、「感じた」と回答している。

その「感じた」理由としては、「⑦市民の考えを知ることができた」が最も多く、次いで「③十分な情報共有ができた」、「②充実した事業を行うことができた」の回答が多い。

### Q4 市民参加における問題



問題があったかどうか	あった	なかった	計
	160	179	339
あった理由 (複数回答)	①市民の意見が要望、要求型である		82
	②時間と手間がかかる		66
	③市民同士の意見が対立し、まとまらない		20
	④意見が堂々巡りし、内容が深まらない		29
	⑤市民参加に対する庁内の理解が得られない		10
	⑥参加した市民が市民の代表とはいえない		19
	⑦参加してくれる市民が少ない		92
	⑧その他		6
	計		

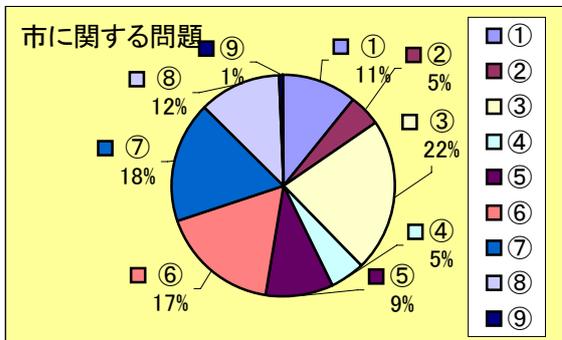
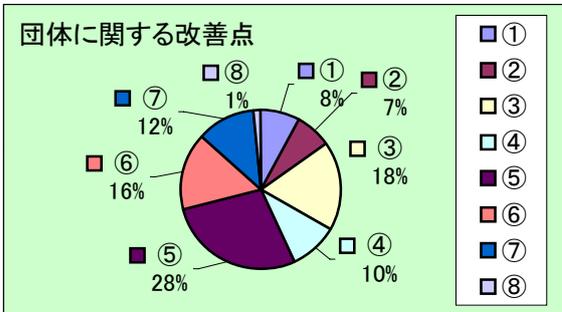
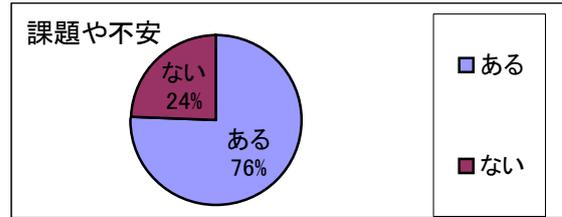


市民参加による問題があったかどうかという質問に対しては、47%の方が問題があったと解答しており、その理由は、「⑦参加してくれる市民が少ない」「①市民の意見が要望、要求型である」「②時間と手間がかかる」という意見が多かった。

# 協働に関するアンケート調査集計結果(職員)

## Q5 市民活動団体と協働を進める上での課題や不安

課題や不安	ある	ない	計
	311	100	411
団体 (複数 回答 に対する 改善)	①企画力の向上		57
	②専門知識やノウハウの蓄積		53
	③団体の組織体制の充実		129
	④責任体制の確保		70
	⑤行政依存体質の改善		198
	⑥人材の育成		114
	⑦行政の制度やルールへの理解を深めること		86
	⑧その他		10
計			717
市に (複数 回答 する 問題)	①前例踏襲主義		95
	②上司の理解・賛同		40
	③予算の不安		193
	④提出文書の煩雑		44
	⑤団体に関する情報の不足		82
	⑥部局間の連携不足		151
	⑦協働のルールが未確立		153
	⑧行政のサポート(指導・助言・助成制度)		103
	⑨その他		6
計			867



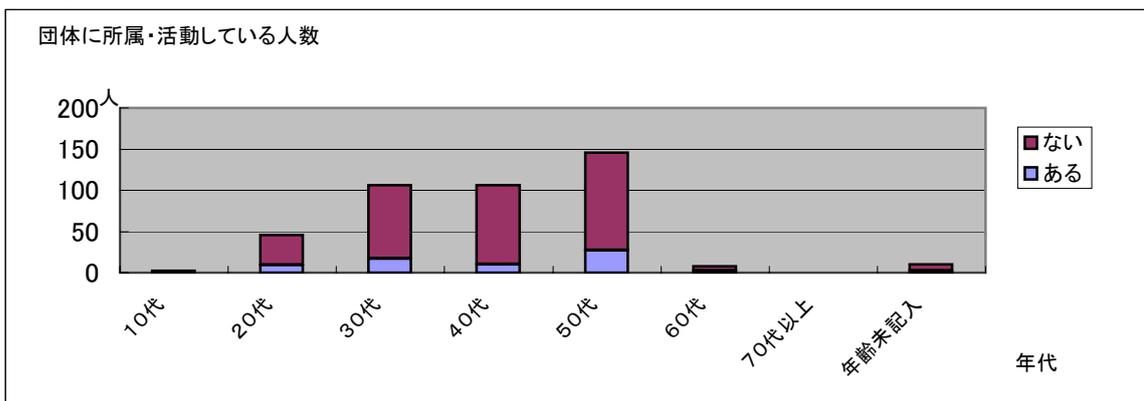
市民活動団体と協働を進めるうえで、課題だと感じていることや不安に思っていることはありますか。という質問に対しては、76%の方があると回答している。

その内、市民活動団体に関する改善点としては、「⑤行政依存体質の改善」が最も多く、「③団体の組織体制の充実」、「⑥人材の育成」と回答した者が多かった。

一方、市役所に関する問題としては、「③予算の不安」が最も多く、「⑦協働のルールが未確立」、「⑥部局間の連携不足」と回答した者が多かった。

Q6、7の意見は別紙を参照下さい。

## Q8 個人的に所属、活動している団体



所属団体		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢未記入	計
	ある	0	9	17	10	27	2	0	2	67
	ない	2	37	89	96	119	6	0	8	357
計		2	46	106	106	146	8	0	10	424
加入率(%)		0.0	19.6	16.0	9.4	18.5	25.0		20.0	15.8

個人的に所属・活動している団体はありますか。という質問に対しては、回答をいただいた424名中67名が「ある」と回答しているものの、加入率は15.8%と低くなっている。年代別に見ると、40代の加入率が9.4%と低くなっている。

